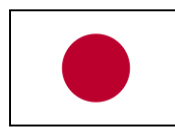




アグアスだより



令和7年度10月号

令和7年10月1日(水)発行

「振り返りは未来への第一歩」

9月6日に運動会を開催いたしましたところ、保護者の皆様をはじめ、たくさんの方に御参観いただき、盛会裏に開催できましたことを心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今日から10月。10月3日に前期が終了し、10月7日から後期がスタートいたします。今年もいよいよ折り返し点を迎えます。この機会に、振り返りの時間をもちたいと思います。過去を振り返ることは、未来を見据えるための第一歩です。前期の学びや成長をしっかり確認し、できているところは自信をもち、もう少し頑張ったほうがよいと感じるところについては、どのように改善できるか考えてほしいと思います。保護者の皆様も、一緒にお子様の成長について考えていただければ幸いです。

前期には、水泳学習や修学旅行、9月6日には運動会が行われました。日々の活動を通じて、子どもたちは多くの経験を積み、着実に成長してきたことを感じております。また、フランス校との交流もこれまで以上に積極的に行い、互いの理解を深める良い機会となりました。行事を通じて子どもたちの成長を見守る中で、その頼もしい姿に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、後期には10月25日に学習発表会が控えており、これから本格的に準備が始まります。子どもたちは、この行事を通じてさらなる成長を見せてくれるでしょう。今から期待が高まります。

また、中学部3年生にとっては、同時に高校受験に向けて本腰を入れて取り組む時期でもあります。

受験生としての責任を自覚し、しっかりとした覚悟をもって勉強に励んでほしいと思います。彼らの努力が実を結び、希望する進路へとつながっていくように、学校としましてもできる限りのサポートをしてまいります。

このように、振り返りの時期とともに新たなスタートを切ることができる10月は、子どもたちにとっても非常に重要な意味をもつ時期です。それぞれの目標を見据え、改めて新しい気持ちで後期をスタートさせていきましょう。保護者の皆様には引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。
(校長 山下 繁樹)

10月行事予定

- 1日(水) 前期クラブ・死者の日の集い事前指導
- 3日(金) 前期終業式・第2回1次試験(放課後)
- 6日(月) 秋休み
- 7日(火) 後期始業式・PTA図書貸出
- 8日(水) 後期委員会①
- 9日(木) 音楽集会
- 13日(月) 学習発表会係会①
- 14日(火) 中3進路懇談(～16日)
中3のみ5時間授業(～16日)
PTA図書貸出
- 17日(金) 学習発表会係会②
- 20日(月) 学習発表会係会③
- 21日(火) PTA図書貸出
- 22日(水) 学習発表会準備
- 23日(木) 学習発表会予行
- 25日(土) 学習発表会・学習展示
- 27日(月) 振替休業日
- 28日(火) 学習発表会片付け・振り返り
- 29日(水) 後期クラブ活動②
- 30日(木) 死者の日の集い・カレーの会
- 31日(金) ブロック朝会

「🍁読書の秋🍂」に・・・

読書は、子どもにとっても大人にとっても、良い影響があるということは何となくわかっていても、なかなか本を読むという習慣が身につかないと思うことはありませんか？

読書の習慣を根付かせるためには、いくつかの重要なポイントを理解しておく必要があります。

- ・本をスムーズに読む方法が分からない
- ・集中力が続かず疲れる
- ・習い事や遊びなどで時間を取られて、読書時間が確保できない
- ・どれが面白い本なのかが分からない

… そんな場合には・・・

【読書を習慣づけるヒント】

1 手に取りやすいところに本を置いてみる。

学校では学級文庫を設け、その学年に合った本を置いています。

2 読み聞かせをする。

学校では、図書委員会や担任が読み聞かせを行っています。

3 決まった日、決まった時間に読書をする。

学校の「朝読書」の時間は、それぞれ興味のある本を開いています。

4 読んだ本について話をする。

学校ではブックトークなどを行っています。

～御家庭でもこの機会に話題にしてみてください～

【まとめ】

毎日、決まった時間に自分の好きな本を読むようになれば、そこからいろいろな本に手を伸ばしていくことになるでしょう。本の世界に没頭すると、頭の中で物語が繰り広げられていく感覚が楽しいし、本に書いてあることを理解するために勉強をし始める。それは成績アップにつながります。ぜひ、読書習慣を取り入れてみてください。

(引用: ほんのダイアリー <https://honno-diary-1.com/habit/>)

4つの取り組みで読書習慣を身に着ける！)

(図書担当 清水 晶)

【新しいの本の紹介】 さらに、物語は迷い込む

短めの物語が、集められています。この本は、読みはじめてからぐいぐいと引きこむ魅力があります。読み手は、終わりまで一気にページをめくっていくことでしょう

読後、なんともいえない余韻があります。子どもだけでなく、大人にも読んでもらいたい本です。ハッピーエンドには満足しない気分のときに、開いてみてください。

(図書担当 清水 晶)

